

日韓交流展『感覚の還元』開催について

この度、ozasakyotoでは、キム・キヨン氏をゲストキュレーター／コーディネーターに迎えて、清州を拠点に活躍する韓国のアーティスト「ソンブナム氏、イスンヒ氏、パクヨンハク氏」による日韓交流企画展「感覚の還元」を開催いたします。

キヨン氏とは、彼が京都市立芸術大学の博士課程を修了し、シェアスタジオASK(Atelier Share Kyoto)を制作の拠点に構えた頃に知り合いました。当時のASKには、20代～40代のアーティスト20名ほどが京友禅染の工場跡を共同のシェアスタジオとして使用していたと記憶しています。いつの頃だったか記憶は定かではありませんが、ASKでのキヨン氏との何気ない会話の中に、日韓の交流展の話が自然に出てきました。その後、キヨン氏は京都での初個展を控える中で、釜山ビエンナーレの展示チーフという大役が舞い込み多忙を極めた為、間も無くASKを離れることになったのです。すっきり、日韓の交流展の話は影を潜めたように思っていました。去年の釜山ビエンナーレに招かれたのを機会に、何気ない会話がそこから大きな実を結び、此度の展覧会を開催する運びに至りました。この度、キヨン氏の地元である清州から『ソン・ブナム氏、イ・スンヒ氏、パク・ヨンハク氏』を京都にお迎えできることは大変嬉しく、展覧会開催にご尽力いただいた皆様には感謝申し上げます。またこれを機会に日韓の交流の場が広がることを切に願っております。

ART OFFICE OZASA inc.



LEE SEUNG HEE



PARK YOUNG HAK

【会場】

ozasakyoto
京都市上京区堅門前町 414
西陣産業会館 207 (堀川今出川南西 西陣織会館 西館)

【会期】

2017年6月16日(金) - 6月29日(木)
11:00 - 18:00

【休廊日】

日・月 休み

【OPENING RECEPTION】

2017年6月16日(金) 17:00 -

【問合わせ】

株式会社 ART OFFICE OZASA
〒602-8216 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207
電話：075-417-4041
メール：mail@artozasa.com HP：www.artozasa.com



SON BU NAM

感覚の還元

ソンブナム、イスンヒ、パクヨンハクの関係は非常に特別だ。

彼らは韓国の清州(チョンジュ)という小さな都市で生まれ、お互いに異なるMediaとMassを扱うにもかかわらず、長い間、同じ時期と場所で一緒に活動して来た。そのため、彼らはお互いに友人でありながら同僚であり、師匠として存在する。

もちろん、同じ状況の多くの作家たちがいるにも関わらず、敢えてかれら三人を一堂に集めたのは、それなりの理由がある。

現代の多くのアーティストが作品に向き合う時に対象を分析し、自分が設定した概念の妥当性を証明する演繹的、帰納的方式の姿勢を取っているが、彼らはそのような方式を取らないのがその理由である。

彼らは、人生の過程で変化していくお互いを発見し、そこで自分の立場を取る。そのため相手の変化によって、自分にどのような予測不可能な結果が生まれるかを考察する人生の過程としてのアプローチの仕方を取っている。

彼らにとって人生のすべての経験は、物と空間、時間と感覚の組み合わさることで複雑に織り込まれている。

彼らにとって対象は、理性的思考を通じて作品の構成要素として認識するオブジェではなく、作家の感覚によって知覚される「物」である。この時の感覚は神経系統の刺激-反応関係でもなく、従来数人の思想家たちが話すある純粋な次元での単一の「超」感覚でもない。彼らが持っている感覚は雑感と言え。

雑感とは「雑」という文字が象徴するように、対象、外部、自分とお互いの関係性などが総体的に混在された感覚であり、意識を通じて受け入れられるすべてのものを美的知覚に還元させ、発現することを意味する。

一例として、このような意識構造については、反芻動物が一度食べたものを反芻するため、吐き出した際、従来の食べたものと同じものでありながら、同じものではない非同一性のもことになる反芻の過程で説明できる。

つまり、各人の経験がお互いに影響を与えて雑感になり、その雑感は再びお互いに影響を与え、時と場所、そして対象、相手によって常に新しい感覚が形成される反芻の時間性の中で彼らの美的知覚が成り立っているのだ。

反芻の時間性と雑感に妙に絡み合っている彼らの作品はたとえ観念から始まって展開されたとしても感覚と外部、そして「時」の不規則な相互作用を通じて、既に作られたもの(観念)から分離されていくことであると言える。

したがって、彼らの作品は対象、外部、感覚、時間が不可視的に浸透、融合、衝突する反芻の過程で発現される現成物という共通の特徴を持っている。

展示企画、金基永 / キムキヨン

【出展作家】

LEE SEUNG HEE 李承熙 / イスンヒ

学歴

清州大学校芸術大学工芸学科卒業

主な個展

- 2016 TAO, Galerie Bhak, ソウル, 韓国
 - 2015 物外物, Object beyond Object, フォースギャラリー, 北京, 中国
 - 2014 Nada out of Nada, ギャラリーイベ, 釜山, 韓国
 - 2013 Beyond Expectation, Galerie Bhak, ソウル, 韓国
Path, Palm Beach, アメリカ
TAO, Shin gallery, ニューヨーク, アメリカ
 - 2011 厚我有, アートインサイド, ソウル, 韓国
 - 2010 CLAYZEN, ギャラリーイベ, 釜山, 韓国
 - 2009 CLAYZEN, 韓国工芸館, 清州, 韓国
CLAYZEN, アートインサイド, ソウル, 韓国
 - 2006 CLAYZEN, ムシムギャラリー, 清州, 韓国
その他 8回
- #### 企画及びグループ展
- 2016 イワイ: 共感帯, DACHEONG HO MUSEUM OF ART, 清州, 韓国
 - 2015 Familiar Otherness, 香港アートセンター, 香港
START: This is Tomorrow, The Saatchi Gallery, ロンドン, イギリス
韓国工芸, 法古創新 2015, ミラノトリエンナーレミュージアム, イタリア
 - 2014 白磁礼賛, ソウル美術館, ソウル, 韓国
Casting in Origin, City Gallery, サンディエゴ, アメリカ
walking in Origin, Force Gallery, 北京, 中国
Summer Art Festival-FEEL LIFE, Waterfall Mansion, ニューヨーク, アメリカ
Beauty of Arts, Shanghai Art Collection Museum, 上海, 中国
青色礼賛, 利川陶芸センター, 利川, 韓国
 - 2013 ART Hamptons, Hamptons, ニューヨーク, アメリカ
 - 2012 ART SHOW PUSAN, BEXCO, 釜山, 韓国
Asia Top Galleries Hotel Art Fair, Mandarin Oriental Hotel, 香港
その他日本, ニューヨーク, 香港, イギリス, 中国, など30回



PARK YOUNG HAK 朴榮鶴 / パクヨンハク

学歴

清州大学校芸術大学大学院絵画学科修了 / 清州大学校芸術大学絵画学科卒業

主な個展

- 2016 清州美術創作スタジオ、清州、韓国
- 2015 ギャラリーH、清州、韓国
- 2014 ギャラリーアイン、釜山、韓国
- 2012 Shinn Hwa Gallery、香港
- 2011 LEE galerie、ドイツ
- 2009 モアギャラリー、坡州、韓国
- 2007 インサアートセンター、ソウル、韓国
- その他 7回

企画及びグループ展

- 2016 韓日芸術通信、嵯峨美ギャラリー、京都、日本
Art in Drama むやみに切なく、Galerie Bhak/Lotte gallery、イルサン/釜山
- 2015 一緒に歩く、Makii Masaru ギャラリー、東京、日本
- 2014 Montage of wandering、Gallery MC、ニューヨーク、アメリカ
KIAF、COEX、ソウル、韓国
ART SHOW PUSAN、BEXCO、釜山、韓国
- 2013 必然の中の偶然、四面空間、北京、中国
Houston Fine Art Fair、ヒューストン、アメリカ
- 2012 Glamour Green、Shinn Hwa Gallery、香港
プレビューアートフェア、ベルリン、ドイツ
AHAF HK12、Mandarin Oriental、香港
カールスルーエアートフェア、カールスルーエ、ドイツ

受賞及びレジデンス

清州美術創作スタジオ4期入居作家

作品所蔵

国立現代美術館(美術銀行)、ソウル市立美術館



SON BU NAM 孫富男 / ソンブナム

学歴

忠北大学校大学院美術科修了 / 忠北大学校美術教育科卒業

主な個展

- 2015 Wumin Art Center、清州、韓国
- 2011 UM Gallery、ソウル、韓国/Moosim Gallery、清州、韓国
- 2010 UM Gallery、ソウル、韓国
- 2006 Vermont Studio Center、Vermont、アメリカ
- 2004 Moosim Gallery、清州、韓国
- 2003 Spacemom Museum、清州、韓国
- 2002 Songadang Gallery、大邱、韓国
- 2001 Moosim Gallery、清州、韓国
- 2000 Chung Art Gallery
- 1999 Moosim Gallery、清州、韓国
- 1997 Gallery7000、シカゴ、アメリカ
- 1996 Moosim Gallery、清州、韓国
- 1995 Gallery Maul、ソウル、韓国/Moosim Gallery、清州、韓国
- 1993 Gallery Chang、清州、韓国/西南美術館、ソウル、韓国
- 1992 Songsan Gallery、清州、韓国
- 1991 Chunhtop Gallery、清州、韓国

企画及びグループ展

- 2015 紙に描く紙で作る、ネクストアート美術館、清州、韓国
第2回清州国際現代美術展、Schema Art Museum、清州、韓国
- 2014 第28回無心絵画展、新美術館、清州、韓国
Schema Art Museum、清州、韓国
- 2013 美術で語る、Schema Art Museum、清州、韓国
第27回無心絵画展、大清湖美術館、清州、韓国
- 2012 意味の層位、Schema Art Museum、清州、韓国
- 2011 音の風景、Spacemom Museum、清州、韓国
- 2010 ICA Exhibition Association、KEPCO PLAZA、ソウル、韓国
アートインハウス、Gallery The Hill、ソウル
- 2009 版画、声をかける、新美術館、清州、韓国
- 2008 A Door Free、Spacemom Museum、清州、韓国
- 2007 版画の美しさの伝統と現代の出会い、国立清州博物館、清州、韓国

受賞及びレジデンス

- 2006 Vermont Studio Center Freeman Foundation Fellowships
Vermont、アメリカ

- 2003 今年の良い作家賞、無心美術会、清州、韓国

作品所蔵

電気公社共済組合、韓国ガス公社、韓国石油公社、SKテレコム社屋
国民銀行、朝興銀行、忠清北道教育廳、Ramada Hotel、釜山市立美術館

